

やまぢから
山村力誘発モデル事業（拡充）

【平成19年度概算決定額 144,548(125,000)千円】

事業のポイント

都市と山村とが連携して行う意欲的・先導的な取組を支援するとともに、山村活性化に資する人材の育成等を行います。

（我が国の山村の現状）

- ・ 山村地域が占める森林面積は、全国の森林面積の61%
- ・ 山村地域の人口は、全国の4%
- ・ 山村地域の65歳以上の高齢者が占める割合は28%（全国17%）

政策目標

振興山村地域の市町村の中で、新規定住者数、交流人口数又は地域産物等販売額が前年度に比べ維持・向上している市町村の割合を前年度よりも増加（参考：H17年度の割合 53%）

<内容>

1. 山村活性化のモデルの構築

山村と都市の自治体、NPO等が連携して実施する定住促進など山村活性化に資する意欲的で先導的な取組を公募・選定し、支援を行います。

【補助率1/2】

【直接支援事業 75,000(90,000)千円】

2. 山村の活性化に資する人材の育成、情報発信等

(1) 山村の活性化に資する人材の育成

山村と都市住民の対話の場として山村塾を設定し、森林・山村の特長を活かした地域おこしのプランの策定、研修等を通じて、人材の育成を行います。

(2) 地域活性化に係る技術支援、情報発信

新たな地域活性化方策の調査・提案、アドバイザーの派遣、地域情報の発信などを行います。

【定額、補助率1/2】

【中央団体事業 69,548(35,000)千円】

<事業実施主体>

直接支援事業：都市と山村の自治体、NPO等が連携した任意団体等

中央団体事業：民間団体

<事業実施期間>

直接支援事業：平成18年度～22年度（5年間）

中央団体事業：平成18年度～23年度（6年間）

[担当課：林野庁計画課森林総合利用・山村振興室]